

027 ブロックチェーン技術を用いた安否確認サービス

- ✓ ブロックチェーン技術を活用し、災害に強い安否確認サービスを提供

取組主体	従業員数	想定災害	実施地域
株式会社電縁	150名	地震等	東京都

株式会社電縁は、平成 29 年にブロックチェーン技術を活用し、情報が失われにくい安否確認スマートフォンアプリをリリースした。

1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

安否確認情報を確実に保管し、災害時でも確実に利用者に情報を伝える

- システムコンサルティング等を行う株式会社電縁では、近年、ブロックチェーン技術を活用したシステム開発や実証実験等を実施している。ブロックチェーン技術とは“分散型台帳技術”とも呼ばれ、ネットワークに接続された多数の電子機器でデータを保管・管理しあう仕組みであり、記録が失われにくく、改ざんしにくい仕組みを低コストで実現できる、といった特徴がある。
- 同社では、過去の大規模災害時において携帯電話会社のメールサーバーに過度の負荷がかかりメール配信に大幅な遅延が発生したこと、多くの安否確認サービス事業者がデータの集中管理を行っており当該事業者のシステムに障害が発生した場合、サービス全体が停止する可能性があること、特定の通信経路が切断されるだけでサービスを利用できなくなる恐れがあること等を考慮し、データを分散型で保管するブロックチェーン技術の特徴を生かした安否確認サービスを開発した。
- 同社のサービスは、複数のサーバーに跨って安否情報を確認するため、一部のサーバーが被災しても安否確認サービスの提供を継続できるという特徴がある。また、メール機能を使用しないため、携帯電話キャリアの混雑を回避することができる。
- また同社では低コストでサービスを提供できるという利点を生かし、中小企業をターゲットとしたサービスを展開する予定である。平成 31 年 2 月現在では、多くの人に利用してもらうという観点から、スマートフォンアプリを通して、個人ユーザーに対して無料でサービスを提供している。



操作画面のイメージ

2 取組の平時における利活用の状況

- 同サービスのアプリケーションはメッセージ機能も有しており、平時でも個人間のコミュニケーションに活用できる。
- ユーザーに安心して使ってもらえるよう、ウェブサイト上で防災情報、知識を提供している。

3 現状の課題・今後の展開等

- 現在は個人ユーザーが大半であるため、今後は当初のターゲットである中小企業での普及を目指していく。

担当者の声



日本で初めてブロックチェーン技術を安否確認サービスに応用

- 既存の企業向け安否確認サービスが高額であることを踏まえ、当社はコストを抑えたサービス提供にこだわりました。
- 企業で導入した場合に、携帯電話のメールアドレス等を収集する必要がないため、従業員は大きな抵抗を感じずに済みます。

問合せ先

株式会社電縁 法人番号:2010701022158
TEL 03-5759-8955 FAX 03-5759-8956 E-Mail getherd@denen.com